

2020年 現役生からの報告

OBOG会担当:立教大学3年 畑中美乃莉

今年は格別に残暑が厳しいようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍において、立教舞研OB・OGの皆様も今年は例年と変わってしまった部分も多いかと思えます。我々は前期の試合はすべて中止となり、新歓もオンラインで開催し、学校から課外活動が禁止されていたためほぼ活動ができておりませんでした。モチベーションが低下してしまうことはありましたが、皆様の応援やご協力のおかげで保つことができております。心より御礼申し上げます。

今回は、オンラインで行った活動と今後の方針についてご報告させていただきます。

キ 新歓

SNSで例年より投稿回数を増やしできるだけ多くの新入生の目に入るようにするなど、情報発信に力を入れました。ある程度興味を持ってくれた新入生が集まってから、オンラインでの交流会や練習会を開催し、毎回7人から10人くらいの新入生が参加してくれていました。交流会では、競技ダンスのことや学連のこと、私たちの普段の活動などを紹介して交流を深め、舞研に入りたいと思ってもらうことを目的に行いました。練習会では、基本的なボイズなどを教えていましたが、思っていた以上に伝えるのが難しくなかなか大変でしたが、なんとか楽しかったといってもらえる練習会をつくることができました。

キ 今後の活動について

後期の試合は開催の可否が不透明な状況であります。ですが、大学の課外活動については制限が緩和されてきており、本来であれば4月に新入生向けに行う予定であった、ステップ講習会を8月に週1回ではありますが開催することができました。9月にも8月と同様に行います。参加人数自体はあまり多くはありませんが、フィードバックを行い、参加していなかった新入生もいつでも参加できる雰囲気づくりを行っています。

また、おとしにも参加したSPF(立教大学の学園祭)で今年も20分ほどのパフォーマンスを披露する予定です。今年はオンライン開催となってしまいましたが、この機会に新たに新入生が入ってくれることを期待しています。

これからどのように活動していくことができるのか、先を見通すことが難しくなっておりますが、安全対策を十分に行いながら精進して参る所存です。OB・OGの皆様、どうか今後ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。また、くれぐれもお体に気をつけてお過ごしください。